

第29回道路行政マネジメントを实践する栃木県会議

日 時 : 令和6年8月26日(月) 15:00~17:00
場 所 : 宇都宮国道事務所 2F会議室

議 事 要 旨

1. 議 事

<概要説明>

- 1) 道路行政マネジメントを实践する栃木県会議の概要

<渋滞対策>

- 1) 主要渋滞箇所の進捗状況 【報告】
- 2) 最新データによるモニタリング結果 【審議事項】
- 3) その他取り組み状況の紹介 【報告】

<事故対策>

- 1) 事故ゼロプランの取組方針・取組状況 【報告】
- 2) 事故危険区間の対策案について 【審議事項】
- 3) 事故危険区間の運用について 【報告】
- 4) 生活道路事故対策の取組について 【報告】

<宇都宮国道事務所での取り組みの紹介> 【意見交換】

- 1) デジタル防災訓練の取組み
- 2) 360°カメラを活用した道路管理
- 3) TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の派遣

2. 議事要旨

<渋滞対策>

- 1) 主要渋滞箇所の進捗状況 【報告】

(委員意見(道路管理者))

- ・ 県道大戦防小山線については、沿道の店舗や栃木県県警の協力を頂きながら、既存の道路幅18mの有効活用を図り、道路幅員の再分配を検討し、渋滞及び安全対策を実施した。

- 2) 最新データによるモニタリング結果 【審議事項】

(審議結果)

今年度主要渋滞箇所の解除について

- ・ 「全流入方向」でモニタリング3指標をクリアしている8箇所について、現地踏査を行った結果、1箇所の解除について了承頂いた。

- ・「主道路のみ」モニタリング３指標をクリアしている３箇所について、現地踏査も実施したが十分な改善効果が得られていないことから、今回については解除しないことと了承頂いた。

来年度主要渋滞箇所の解除について

- ・「全流入方向」でモニタリング３指標をクリアしている３箇所を、今後現地踏査等を行い、主要渋滞箇所の位置づけを検討していくことと了承を頂いた。
- ・「主道路のみ」モニタリング３指標をクリアしている１箇所を、今後現地踏査等を行い、主要渋滞箇所の位置づけを検討していくことと了承を頂いた。

(委員意見)

- ・今回、解除しなかった国道４号下岡本交差点については、容量不足による要因もあるため、局所的な対策だけでなく、拡幅やバイパス整備も検討の１つではないか。

3) その他取り組み状況の紹介【報告】

(委員長意見（渋滞対策全般）)

- ・本会議が始まって以来２０年間、膨大なデータを蓄積しておくということは、非常に重要。
- ・本日の動画を使った説明については、本来の会議の目的であった道路の見える化に合致し、非常にわかりやすい説明であり、誰にでもわかるということが重要。

<事故対策>

1) 事故ゼロプランの取組方針・取組状況【報告】

2) 事故危険区間の対策案について【審議事項】

(審議結果)

国道４号築瀬３丁目交差点について

- ・今回で結論を出すのではなく、継続的に関係者間で調整していく。

(委員意見)

- ・自転車の走行位置や２段階右折について検討が必要。
- ・停止線の前出しによる交差点コンパクト化が右折時の速度抑制にもつながる。
- ・小中学生へ車道を走行することについて、きちんとしたルールの指導が必要であり、パンフレット作成や教育を十分に行う必要がある。
- ・自転車横断帯を消す場合、矢羽根を入れておいたほうが良く、道交法で自転車がどこを走るべきかを含め、関係者間で調整が必要である。
- ・交差点の規模により、歩車道分離にするのかということも含めて検討の幅は非常に広いと思われ、地域の実情や交差点の大小によって最良

のものを作っていくことが望ましい。

3) 事故危険区間の運用について【報告】

4) 生活道路事故対策の取組について【報告】

(委員長意見 (事故対策全般))

- ・ 4年間事故ゼロでも5年目に事故が起きる可能性はあり、量的ではなく質的に社会全体で交通事故を減らしていくような仕組みや、身近なものにも目を向けて寄り添っていくことが交通安全対策の次のステップである。
- ・ 本日の動画は非常に分かりやすいものであり、市民や子供達含めて皆様に見えるようにホームページにアップするなど、積極的な情報発信をして頂くと良い。

＜宇都宮国道事務所での取り組みの紹介＞【意見交換】

1) デジタル防災訓練の取組み

2) 360°カメラを活用した道路管理

3) TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の派遣

(委員意見)

特段意見はなし。

以上